

# 抗菌剤の慎重使用を徹底しましょう

～今年度から、毎年11月が「薬剤耐性（AMR）対策推進月間」になりました～

## なぜ抗菌剤の慎重使用が必要なのか？



### ●薬剤耐性菌とは・・・

- ・薬剤耐性菌とは、「抗菌剤が効かない細菌」です。
- ・薬剤耐性菌に人や動物が感染すると治療が困難になり、命を落とすこともあります。
- ・薬剤耐性菌は、抗菌剤の使い過ぎなどにより増加します。

### ●薬剤耐性問題と畜産との関わりは？

- ・抗菌剤は、畜産分野でも、動物用医薬品や飼料添加物として使用されています。
- ・家畜への抗菌剤の使用により増加した薬剤耐性菌が、家畜だけでなく、畜産物等を介して、人の感染症の治療を困難にすることが懸念されています。

### ●国内外での取り組み

- ・世界的に薬剤耐性菌による感染症が増加しており、大きな問題となっていることから、次のような取り組みが実施されています。

- ・平成27年 5月：WHOが国際行動計画を採択
- ・平成28年 4月：国内で「今後5年間に取り組むべき対策をまとめた行動計画（アクションプラン）」が決定
- ・平成28年10月：毎年11月を薬剤耐性対策推進月間と位置づけ、普及啓発を実施



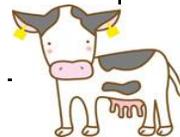
## 畜産関係者が実施すべき対策は？



- ・生産者や獣医師をはじめとする畜産関係者には、薬剤耐性問題を理解し、「**抗菌剤の慎重使用**」を徹底すること等が求められています。具体的には、

- ① 飼養衛生管理の徹底やワクチンの使用により感染症を減らすことにより、抗菌剤の使用機会を減らすこと
- ② 抗菌剤の使用を真に必要な場合に限定すること

が対策の基本となります。



国産畜産物に対する消費者からの信頼に応えるため、また、家畜に対する抗菌剤の有効性を維持するためには、畜産関係者が一体となって対策に取り組む必要があります。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



詳細は、農林水産省HPに掲載しています。

農林水産省 抗菌性物質

検索

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/koukinzai.html>

